平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	河川・水路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	整備時期は未定であるが、整備の目安がついた段階で、整備方針等の検討を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	整備時期は未定であるが、整備の目安がついた段階で、整備方針等の検討を行う。
②①に基づく取組み結果	整備の目安がついていないため、整備方針等の検討は行えなかった。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	①主要な水路 ②その他の水路	意図（対象をどうするのか）	浸水被害の軽減 隣接家屋等の安全性確保
②事務事業の概要		下流の状況を考慮し、段階的な整備を行う。 ①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修を行う。 ②上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	・紙敷川改修事業として、L＝130.0mの河川整備を松戸市主体により実施した。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	主要な水路の暫定改修実施率	6.50	6.50	6.50	%	業務取得
	ii	主要な水路の50mm/hr改修実施率	2.60	2.60	2.60	%	業務取得
	iii	浸水面積（河川水路）	31.9	31.9	31.9	ha	業務取得

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	11,893	3,892	金額（千円）	内容	9,910
国支出金（千円）			3,892	紙敷川改修事業負担金	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	11,893	3,892			9,910

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	整備の目安がついていないため、整備方針等の検討に取り組めない。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	・紙敷川改修負担金 ・金山落水路用地	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	・紙敷川改修負担金支払い済	10,903	10,903	当初	10,903	3,892	H25からの繰越 0
③達成状況	未完了			H25⇒26繰越	0		現年分 3,892
④未完了・非着手の理由	金山落については、用地取得方法の決定に至らなかったため、着手出来なかった。			補正	0		
				流用・充当	0		
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	0				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	準用河川整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	準用河川	意図（対象をどうするのか）	浸水被害の軽減 隣接家屋等の安全性確保
②事務事業の概要	計画の策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。 ①流下能力の向上と護岸の保護を目的とした暫定改修を行う。 ②50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	二和川護岸改修第28期工事L＝108．7mを完了した。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	暫定改修実施率	16.40	18.61	19.73	%	業務取得
	ii	50mm/hr改修実施率	11.42	11.42	11.42	%	業務取得
	iii	浸水面積（1級河川、準用河川）	82.0	81.5	81.5	ha	業務取得

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	49,258	31,059	金額（千円）	内容	148,254
国支出金（千円）			7,018	二和川整備に伴う地質調査委託	
県支出金（千円）			5,147	二和川河川整備測量委託	
市債その他（千円）	32,300		1,112	二和川第29期事前調査	35,100
一般財源（千円）	16,958	31,059	16,452	二和川護岸改修28期工事	113,154

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無いようにしなければならない。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	二和川護岸改修工事、二和川整備設計・工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	二和川護岸改修第28期工事を完了した。	105,885	122,337	当初	88,895	31,059	H25からの繰越 16,452
				H25⇒26繰越	16,452		
③達成状況	未完了			補正	16,990		現年分 14,607
④未完了・非着手の理由	二和川整備設計は、H27へ繰り越したため。			流用・充当	0		
		平成27年度への繰越額（単位；千円）		70,784			

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	地域排水整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域排水施設	意図（対象をどうするのか）	浸水被害の軽減
②事務事業の概要	浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	丸山一丁目地区地域排水整備工事では、185m^{3}の地下浸透貯留施設を設置した。鎌ケ谷二丁目地区排水管改修工事では、管渠内被膜ライニングを15m整備した。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	整備工事完了・着手箇所数	16	18	20	箇所	業務取得
	ii	浸水面積（地域排水）	11.2	11.1	11.1	ha	業務取得
	iii	浸透桝設置基数	6,263	6,411	6,587	基	業務取得

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		42,499	35,509	金額（千円）	内容	57,065
	国支出金（千円）			3,996	初富字五本松基本設計委託	
	県支出金（千円）			3,444	鎌ケ谷二丁目実施設計委託	
	市債その他（千円）		10,500	14,040	丸山一丁目地区排水整備工事	29,200
	一般財源（千円）	42,499	25,009	6,039	鎌ケ谷二丁目排水管改修工事	27,865

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
		計画事業費	予算額			決算額		
①平成26年度の計画	浸透桝モニター、鎌ケ谷二丁目地区排水整備工事、初富古桜地区排水整備工事、道野辺中央5丁目地域排水整備委託、初富五本松排水整備委託、丸山一丁目地区排水整備工事	34,271	45,180	当初	19,271	35,509	H25からの繰越	9,112
②計画に対する事業実績	浸透桝モニター、鎌ケ谷二丁目地域排水整備工事、初富五本松排水整備委託、丸山一丁目地区排水整備工事を完了した。			H25⇒26繰越	10,637			
③達成状況	未完了			補正	15,000		現年分	26,397
④未完了・非着手の理由	初富字古桜地区排水整備工事は、地権者との交渉が難航したため非着手となった。道野辺中央5丁目地域排水整備委託は、H27に繰越したため。			流用・充当	272			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）		5,508				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	雨水貯留池整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	雨水貯留池	意図（対象をどうするのか）	河川の流量の調整を行う。 雨水の流出を抑制する。
②事務事業の概要	浸水被害の軽減に必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした貯留池の整備を行う。整備にあたっては、河川の整備計画との整合を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：・南初富2丁目貯留池整備事業に伴う用地測量等を実施した。・串崎新田貯留池整備事業に伴う用地測量を実施した。・南初富5丁目貯留池整備工事を実施した。・串崎新田貯留池暫定整備工事を実施した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	河川調節池の暫定整備率	85.71	85.71	85.71	%	業務取得
ii	河川調節池の整備率	57.14	57.14	57.14	%	業務取得
iii	貯留量	37,480	37,480	40,421	m3	業務取得

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	68,339	235,952	金額（千円）	内容	39,032
国支出金（千円）		45,480	160,727	南初富5丁目貯留池整備工事	
県支出金（千円）			16,614	串崎新田貯留池暫定整備工事	
市債その他（千円）		134,200	52,931	南初富2丁目貯留池整備事業に伴う用地購入	26,200
一般財源（千円）	68,339	56,272			12,832

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	7拡充
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	浸水被害の軽減を図るには、下流の整備が進んでいない現状では、貯留池を整備することが最善策と考えられるため、より一層の整備を進める。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）						
①平成26年度の計画	南初富5丁目貯留池（工事）、南初富2丁目貯留池（用地購入）、串崎新田貯留池（工事）	計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	南初富5丁目貯留池（工事）、南初富2丁目貯留池（用地購入）、串崎新田貯留池（工事）それぞれ実施。	246,730	246,458	当初	163,770	235,952	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越	0			
③達成状況	完了			補正	82,960		現年分	235,952
④未完了・非着手の理由				流用・充当	−272			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）			0			

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	流域環境整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	2	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	若泉哲也			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	現状施設の機能維持及び転落による事故防止のための柵の設置を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	河川施設の点検方法等について検討を行う。
②①に基づく取組み結果	準用河川において転落防止のためのフェンスを25m設置した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	河川、水路、調整池	意図（対象をどうするのか）	施設の機能維持
②事務事業の概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	施設の老朽化が進んでおり、大規模な修繕とともに、施設を長持ちさせるための対策が見込まれる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：○河川管理委託　○河川・水路清掃委託　○スクリーン清掃委託　○河川・水路維持工事

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	河川・水路に対する満足度	11.1	13.8	－	%	市民意識調査
ii	河川・水路除草面積	50,164	50,164	48,826	㎡	業務取得
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	35,730	70,247			27,750
国支出金（千円）		0	26,604	委託料	0
県支出金（千円）	0	0	43,642	工事請負費	0
市債その他（千円）	0	0			0
一般財源（千円）	35,730	70,247			27,750

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	河川・水路の維持工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	河川・水路の維持工事	50,724	70,324	当初	44,724	70,247	H25からの繰越 19,600
③達成状況	完了			H25⇒26繰越	19,600		
④未完了・非着手の理由				補正	6,000		現年分 50,647
				流用・充当	0		
		平成27年度への繰越額（単位；千円）			0		